

心づかい

心づかいは 発見に ほぼ全 ~~職~~ ありあらず

しやんとしん

いっものううに みる方 四時近くは 目が

すめ

何とけはく きこえて 来る ラジオが 遅く夜更の

アレカリーの フどいぶあうん はなしをした

その アアアアアアア

アアアアアアア の 名司の やりとりを しん

その 名司に よろしく と ~~目~~ 筆でかい

身づ

おれおれおれ

それと 成郵して

あつたニとあつた アアアアアアア

おんと思つて

きんくと 諸本 出するの は アアアアア

ふたりと とうでは 今いところ

対話の 所 相手が するで 司会者

上手でして 会う 会話 相手は 総意

活

読朋をさす時

朝手への心づかいに  
しうろくろり

つアとらなうていん

おろしんをきいて

やはり人柄だと感じた

管絃を聴いての  
かなりの名司とりん

だん 下さる方第2の力と  
いいてはいい

ちうん 名司、そのちう存の  
は ひとつも

おかつん

名司はその人の  
ひとつが顔で

今どうおぼついで

自分の主張でも

その横に心とこ  
とよろしくは  
気がつかない

おかつん

いん 居 けう  
ちうり 目かま  
ん

2022  
10/29